



小久保 貴史/ Kokubo Takafumi

出身：埼玉県春日部市

趣味：ドライブ、神社仏閣お城めぐり、ウクレレ

動物歴：犬、猫現在は猫4匹（4歳～18歳まで）

経歴/Career

有限会社皆川獣医科医院

（アイ動物医療センターグループ）

経営企画室長、教育統括責任者

エム動物病院・アイペットクリニックつくば・

アイペットクリニック日立 勤務医

株式会社コジマ

病院管理部長、病院薬剤管理部長、

コジマ動物病院つくば 院長

AHB インターナショナル株式会社

（現イオンペット株式会社）

薬剤企画室長、久御山・新三郷・日の出病院 院長

【2023年4月～現在】

学校法人佐山学園 教務長

アジア動物医療リハビリテーションセンター 院長

猫と飼い主さんが、少しでも安心して暮らせるような情報をお届けします。

【コラムNo.64】猫とアジサイ

こんにちは。獣医師の小久保です。

6月に入り、今年も早いもので半年が過ぎようとしております。会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。この時期になると、春から初夏へと季節が移っていくのを感じます。私事で恐縮ですが、6月は私の誕生日でもあり、雨の多い季節ではありますが、毎年この頃になると、誕生日のあたりには晴れ間が印象に残っている気がいたします。そうした空の表情を見ていると、今年ももう折り返しに近づいているのだなと感じます。

さて、この時期の花といえば、やはりアジサイを思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。道ばたや庭先で色とりどりのアジサイを目にすると、6月らしさを感じます。青や紫、淡い桃色など、花の色合いもさまざまで、見かけるたびに少し足を止めたくなるような美しさがあります。雨に映える花として親しまれており、季節の風景を楽しませてくれる存在だと思います。一方で、猫と暮らしているご家庭では、少し気をつけておきたい植物のひとつでもあります。

アジサイは猫に有毒とされており、誤って口にすると、嘔吐や下痢、元気消失などの症状が見られることがあります。重い中毒は多くないとされていますが、「庭に植えてあるだけだから大丈夫」「少しかじっただけだから様子を見よう」と軽く考えず、まずは誤食させないことが大切です。ご自宅の庭だけでなく、切り花として室内に飾る機会があるご家庭でも、猫の届く場所には置かない方が安心です。季節の花を身近に楽しみたい時期だからこそ、猫の行動範囲を改めて見直してみることも大切かもしれません。普段は植物に関心がないように見える猫でも、ふとした拍子に口にしてしまうことがあります。

この時期は、アジサイに限らず、花や観葉植物を飾る機会が増える方もいらっしゃるかと思います。しかし、猫のいるご家庭では、植物選びにも少し注意が必要です。なかでも特に気をつけたいのがユリです。ユリは猫にとって別格に危険な植物で、花や葉だけでなく、花粉や花瓶の水でも重い中毒を起こすことがあります。治療が遅れると命に関わることもありますので、猫と暮らしているご家庭では、ユリは室内に持ち込まない方が安全です。

また、庭木として身近なツツジ類も注意が必要です。アザレアやシャクナゲの仲間では、誤食により嘔吐や下痢、元気消失が見られ、重い場合には循環器症状につながることもあります。見た目には美しく、季節を感じさせてくれる植物であっても、猫にとっては思わぬ危険になることがあります。季節の花を楽しむことと、猫の安全を守ることは、どちらか一方ではなく、両方を意識していくことが大切なのだと思います。

猫は、こちらが思っている以上に植物に興味を示すことがあります。葉先を少しかじる、落ちた花びらで遊ぶ、花瓶の水をなめるといった行動は決して珍しいものではありません。普段は植物に見向きもしない猫でも、新しく飾った花には興味を示すことがありますので、「この子は食べないから大丈夫」と決めつけられない方が安心です。特に子猫や遊び好きな猫では、揺れる葉や花びらそのものが遊びの対象になってしまうこともあります。留守中や夜間は見ていない時間が長くなりますので、届かない場所に置く、飾る植物を選ぶ、場合によっては室内に置かないという判断も必要かもしれません。

もし、植物をかじったところを見た、落ちた花びらがなくなっていた、口元に花粉が付いていた、急に吐いたり元気がなくなったりした、ということがありましたら、自己判断で様子を見続けず、早めに動物病院へ相談してください。どの植物を、どのくらい、いつ頃口にしていた可能性があるのかがわかると診断の助けになりますので、植物の名前や写真があるとより安心です。切り花であれば、花束の内容がわかる札や購入店の情報が役立つこともあります。特にユリが疑われる場合には、早めの対応がとても重要です。

6月は、季節の花々が美しく、暮らしのなかで季節を感じる楽しみも多い時期です。その一方で、猫と暮らすうえでは、身近な植物にも少し気を配ってあげたい季節でもあります。アジサイの美しさを楽しみながらも、猫の安全にも目を向けていただければと思います。日々の暮らしのなかで、猫が安心して過ごせる環境を整えてあげることが、何より大切なのではないのでしょうか。身近な季節の花を楽しむときほど、猫の目線でもう一度まわりを見直してみることも大切なかもしれませんね。